

大ジェスト Digest

Tsukamoto Dai



DAI通信 第30号

つかもと大

静岡県議会議員

2018 November

〈発行日〉平成30年11月1日
 〈発行所〉〒425-0062 静岡県焼津市中根新田1157
 TEL.054-624-1555
 FAX.054-624-1333
 〈発行人〉塚本 大

県政報告 Tsukamoto Dai

静岡県内、全地域の要望を聞き取り

私が所属している自民党には、静岡県内に67の市町支部があります。毎年夏に、67全ての市町支部の皆様から地域の実状・要望を聞かせて頂き、今年もその会合を開かせて頂きました。今後は、さまざまな分野・業種で働いている方々の声を県政に反映させる為に、県内のそれらを代表する組織・団体の皆様から要望を聞かせて頂く会合を開かせて頂きます。

これらの聞き取り調査をもとに、県民の求める重点要望をとりまとめ、12月に、知事に来年度予算要望として申し入れを行う予定です。

今後も、県民の声を、県政に反映出来るよう全力で取り組んで参ります。

自民改革会議の活動

この会合は、自民党静岡県連の政務調査会が中心になって行っています。私は、今年度、政務調査会の副会長を務めさせて頂いており、67市町支部全ての会合に出席させて頂きました。ご意見・ご要望の内容は、県内全域で共通するものから地域特性のあるものまで幅広くありますが、今年度の特徴として、大阪府北部地震や7月の豪雨災害等を踏まえた対策を求めるものが多くありました。これらのご要望は、9月補正予算でも対応させて頂きましたが、全国的に災害が起きていることを踏まえ、今後も防災対策の強化に努めて参ります。

9月補正予算に反映(一部紹介)

6月定例会の代表質問「子育て支援関連」

私立幼稚園教員の待遇改善!

〈美しい“ふじのくに”づくりを加速する取り組み：子どもが健やかに学び育つ社会の形成〉
 【私立幼稚園教員人材確保支援事業費助成(新規)】 42,400千円
 幼稚園教員の確保・定着を促進する為、補助率 1/2
 教員の給与改善を行う私立幼稚園に対して助成 上限額 教員1人当たり年間給与の5%

豪雨対策に18億1500万円

豪雨災害等における企業の事業活動へのリスク対策を促進する為、県内中小企業の支援件数 50件程度

6月定例会の代表質問「防災対応関連」

〈大阪府北部地震を踏まえた対策〉
 【プロジェクト「TOUKAI-0」総合支援事業費】 26,000千円
 住宅等の危険なブロック塀等の撤去、改善を支援する市町に対する助成を拡充 (内 焼津市：撤去 30件→150件)

6月定例会の代表質問「障害者福祉関連」

〈美しい“ふじのくに”づくりを加速する取り組み：安心して暮らせる医療・福祉の充実〉
 【手話言語普及促進事業費(新規)】 5,000千円
 静岡県手話言語条例の周知啓発及び手話の普及を推進する為、手話習得講座等を開催

塚本大が、機会あるごとに本会議で取り上げている

今年度、一部区間の4車線化を実現

国道150号志太榛南バイパスの更なる整備促進を要望

志太榛南地区国道150号バイパスは、志太榛南地区の発展に大きく寄与する重要路線の一つであります。その為、私は本会議でも機会あるごとに取り上げ、整備促進に力を入れております。

本路線には、早期完成を目指して期成同盟会があります。私は、期成同盟会の顧問を務めさせて頂いており、毎年、要望活動を行っています。

6月定例会の代表質問「教育関連」

〈美しい“ふじのくに”づくりを加速する取り組み：子どもが健やかに学び育つ社会の形成〉
 【スクール・サポート・スタッフ配置事業費】 41,000千円
 教員の多忙化を解消する為、事務作業を支援するスタッフの配置を拡充
 ・人数 220人(216校)→492人(488校)

6月定例会の代表質問「産業人材の確保・育成関連」

〈美しい“ふじのくに”づくりを加速する取り組み：誰もが活躍できる社会の実現〉
 【ふるさとつながる“ふじのくに”パスポート】事業費(新規)】 5,000千円
 本県で活躍しようとする若者の増加を図る為、ホームページ周知用大学へ進学する高校生等に静岡県の情報を発信 カードの発行 ほか

県交通基盤部からの回答要旨

- ・国道150号は、県にとって重要な幹線道路である。
- ・過去、課題であった国道150号「富士見橋」の混雑への対応の為、「太平橋」を整備し、その後、ネットワークを早くつなぐ方針で事業を続けてきている。
- ・志太榛南バイパスのうち焼津区は、土地収用を行い、4車線開通に至った。残る大井川区も年度末までに開通する予定である。
- ・引き続き、事業中區間(道路事業区間0.9km、街路事業区間0.7km)の事業完了を目指していく。用地交渉が難航しているが、任意交渉を続けていく。
- ・未整備区間の0.5kmは、焼津市道となっている。
- ・道路事業費の確保(総枠拡大)に向けてご協力を頂きたい。

6月定例会の代表質問「大規模スポーツイベント関連」

〈美しい“ふじのくに”づくりを加速する取り組み：“ふじのくに”の魅力の向上と発信〉
 【東京2020オリンピック・パラリンピック自転車競技開催推進事業費】 4,400千円
 大会後県民が利用可能なマウンテンバイクコースの整備等に係る費用を負担

6月定例会の代表質問「産業人材の確保・育成関連」

〈美しい“ふじのくに”づくりを加速する取り組み：誰もが活躍できる社会の実現〉
 【健康美”イノベーション”推進事業費(新規)】 143,000千円
 健康寿命の更なる延伸を図る為、産学官による研究・人材育成、プロジェクト研究 3テーマ健康産業の創生を推進 ほか

豪雨対策に18億1500万円

豪雨災害等における企業の事業活動へのリスク対策を促進する為、県内中小企業の支援件数 50件程度

6月定例会の代表質問「産業人材の確保・育成関連」

〈美しい“ふじのくに”づくりを加速する取り組み：誰もが活躍できる社会の実現〉
 【健康美”イノベーション”推進事業費(新規)】 143,000千円
 健康寿命の更なる延伸を図る為、産学官による研究・人材育成、プロジェクト研究 3テーマ健康産業の創生を推進 ほか

6月定例会の代表質問「産業人材の確保・育成関連」

〈美しい“ふじのくに”づくりを加速する取り組み：誰もが活躍できる社会の実現〉
 【健康美”イノベーション”推進事業費(新規)】 143,000千円
 健康寿命の更なる延伸を図る為、産学官による研究・人材育成、プロジェクト研究 3テーマ健康産業の創生を推進 ほか



塚本大が6月定例会で取り上げた代表質問の内容が早くも県政に反映!

9月補正予算に反映(一部紹介)

6月定例会の代表質問「障害者福祉関連」

〈美しい“ふじのくに”づくりを加速する取り組み：安心して暮らせる医療・福祉の充実〉
 【手話言語普及促進事業費(新規)】 5,000千円
 静岡県手話言語条例の周知啓発及び手話の普及を推進する為、手話習得講座等を開催

6月定例会の代表質問「大規模スポーツイベント関連」

〈美しい“ふじのくに”づくりを加速する取り組み：“ふじのくに”の魅力の向上と発信〉
 【東京2020オリンピック・パラリンピック自転車競技開催推進事業費】 4,400千円
 大会後県民が利用可能なマウンテンバイクコースの整備等に係る費用を負担

6月定例会の代表質問「産業人材の確保・育成関連」

〈美しい“ふじのくに”づくりを加速する取り組み：誰もが活躍できる社会の実現〉
 【ふるさとつながる“ふじのくに”パスポート】事業費(新規)】 5,000千円
 本県で活躍しようとする若者の増加を図る為、ホームページ周知用大学へ進学する高校生等に静岡県の情報を発信 カードの発行 ほか

6月定例会の代表質問「産業人材の確保・育成関連」

〈美しい“ふじのくに”づくりを加速する取り組み：誰もが活躍できる社会の実現〉
 【健康美”イノベーション”推進事業費(新規)】 143,000千円
 健康寿命の更なる延伸を図る為、産学官による研究・人材育成、プロジェクト研究 3テーマ健康産業の創生を推進 ほか

平成30年度 ふれあい親子県議会教室

「ふれあい親子県議会教室」は、夏休み中の社会学習の一環として、小学校4～6年生を対象に開催しています。保護者とともに、県議会の役割や仕組みの学習、議員との交流や議場探検等を通じて、県議会に関する知識を育み、広く県議会をPRすることを目的としています。今年度は、親子45組86人が参加しました。

〈参加者の主な感想〉
 ・親子で議会のことを知ることが出来た。
 ・自分たちが住んでいる地域の事に関心を持った。
 ・なんとなく難しそう感じていた議会や議員に、親しみを感じる事が出来た。
 ・今まで全く県議会に関心がなかったと思うが、ふれあい親子教室を通してしっかり学習出来たと思う。
 ・本会議場体験をしたことで、これからニュース、新聞、県議会だよりも興味を持ってくれると思う。
 ・子どもたちと直接話をしてもらったのは、単純に傍聴するより心に残ったと思う。

・今日一日で議会のことがよくわかり、おもしろかった。
 ・中高大学生、大人用にも開催したら選挙にも興味を持てるのではと思った。
 ・子ども一人一人に役割を持たせてくれたのが良かった。
 ・議員や職員が緊張している子どもに優しい対応をしてくれて良かった。

6月定例会の代表質問「産業人材の確保・育成関連」

〈美しい“ふじのくに”づくりを加速する取り組み：誰もが活躍できる社会の実現〉
 【健康美”イノベーション”推進事業費(新規)】 143,000千円
 健康寿命の更なる延伸を図る為、産学官による研究・人材育成、プロジェクト研究 3テーマ健康産業の創生を推進 ほか

6月定例会の代表質問「産業人材の確保・育成関連」

〈美しい“ふじのくに”づくりを加速する取り組み：誰もが活躍できる社会の実現〉
 【健康美”イノベーション”推進事業費(新規)】 143,000千円
 健康寿命の更なる延伸を図る為、産学官による研究・人材育成、プロジェクト研究 3テーマ健康産業の創生を推進 ほか

【洪水浸水想定区域図の作成について】

洪水浸水想定区域図は、洪水時の浸水範囲や深さを示すもので、市町村がハザードマップを作成する際の基となるものです。流域面積や洪水到達時間等が一定以上の県内47河川については、法律により、洪水浸水想定区域図の作成が義務付けられており、今年度までに作成を完了する予定です。(焼津市関連：瀬川川、朝比奈川、葉梨川、木屋川、折山川)
 ※葉梨川が流れているのは藤枝市ですが、浸水想定区域図には焼津市も含まれます。

6月定例会の代表質問「産業人材の確保・育成関連」

〈美しい“ふじのくに”づくりを加速する取り組み：誰もが活躍できる社会の実現〉
 【健康美”イノベーション”推進事業費(新規)】 143,000千円
 健康寿命の更なる延伸を図る為、産学官による研究・人材育成、プロジェクト研究 3テーマ健康産業の創生を推進 ほか

6月定例会の代表質問「産業人材の確保・育成関連」

〈美しい“ふじのくに”づくりを加速する取り組み：誰もが活躍できる社会の実現〉
 【健康美”イノベーション”推進事業費(新規)】 143,000千円
 健康寿命の更なる延伸を図る為、産学官による研究・人材育成、プロジェクト研究 3テーマ健康産業の創生を推進 ほか

豪雨対策に18億1500万円

災害対策迅速に対応



静岡県議会議員 つかもと大 事務所のご案内

〒425-0062 静岡県焼津市中根新田1157
 TEL.054-624-1555 FAX.054-624-1333
 E-mail tsukamoto-dai@almond.ocn.ne.jp
 http://tsukamoto-dai.com

伊豆市食肉加工センター「イズシカ間屋」

【視察の目的】
平成23年に設立したイズシカ間屋は、伊豆市が運営し、農作物の食害対策として捕獲したシカやイノシシの有効利用を図る為の食肉加工施設です。
持ち込み個体は捕獲後4時間以内とし、また、40分以内に処理し、低温管理により熟成した上で食肉として販売しています。
ニホンジカの食害対策や捕獲状況等を調査しました。



県営住宅今沢団地

【視察の目的】
県は、少子高齢化等を踏まえ、安全・安心な住環境を提供する為、高度成長期に建設した大量の老朽住宅を県営住宅再生計画に基づき、建て替え、全面的改善等の手法により整備を行っています。
民間活力を導入した団地再生事業の効果や整備状況を調査しました。



伊豆半島ジオパークミュージアム「ジオリア」

【視察の目的】
平成28年に開館したジオリアは、伊豆半島ジオパーク推進協議会が管理運営し、伊豆半島の成り立ちや噴火、浸食等、同半島の大地の特徴を展示しているジオパークの拠点施設です。
伊豆東部火山群の成り立ちや火山防災対策等を調査しました。



～副委員長に就任～

〈常任委員会〉
常時設置している委員会で、静岡県議会では、7つの常任委員会を設置しています。それぞれの所管事項について、調査や本会議から付託された議案等を審査しています。
〈危機管理くらし環境委員会〉
危機管理くらし環境委員会は、「危機管理部」と「くらし・環境部」の所管に属する事項（危機管理の総合的な調整、消防、災害対策及び国民の保護、県民生活、住宅及び建築、環境の保全、廃棄物の対策）について、調査及び議案、請願等の審査を行っています。



平成30年度から、危機管理くらし環境委員会に所属することになり、副委員長を務めさせていただきますことになりました。



【視察の目的】
静岡ヘリポートに拠点を置く県消防防災航空隊は、東海地震等の大規模災害への対応や、救助救急活動、消火活動、災害情報収集等の通常災害への対応を行うとともに隊員の技術向上訓練を行っています。
防災ヘリコプターによる救助救急活動等の取り組みを調査しました。

消防防災航空隊

【概要】
組織 市町等から派遣された8名の消防職員（県職員併任）
勤務時間 365日体制で8:30～17:15（時間外は緊急招集）
【防災ヘリコプター2号機の機体更新】
老朽化による大規模修繕や運航休止の発生、救助要請に必要な機能が不足していることから機体を更新し、平成31年7～9月に新機体での運航開始を予定しています。

コアレックス信栄株式会社

【視察の目的】
コアレックス信栄は、再生紙とすることが出来ず焼却されていた難再生紙を再生することが出来る工場を新たに建設し、極限まで廃棄物を削減する準ゼロエミッション化を図っています。
先進的な難再生紙のリサイクルや環境負荷の低減の取り組み等を調査しました。



富士山朝霧バイオマスプラント

【視察の目的】
富士山朝霧バイオマス協同組合は、環境省の環境調和型バイオマス資源活用モデル事業を活用して、低炭素社会と循環型社会を同時達成する処理モデルとして、乳牛のふん尿を原料としたバイオマス発電プラントを建設しました。
バイオマス発電や地下水汚染低減等の取り組みを調査しました。



委員会審査～消防防災ヘリコプターの安全対策について～

本年8月10日に発生した群馬県による監視体制の強化、救助活動中消防防災ヘリコプターの墜落事故を受け、静岡県においても、安全体制の再点検を実施致しました。
委員会の中でも取り上げましたので、概要を掲載致します。
〈危機管理部の説明概要〉
本年3月に国が公表した報告書の内容は、昨年3月の長野県の事故を受け、安全対策を確保する目的で取りまとめたものです。
安全対策としては、13項目あり、主な内容としては、ヘリの位置情報報がわかる動態管理システムの活用

委員会審査～消防防災ヘリコプターの安全対策について～

これらについて、再点検を実施しました。
動態管理システムについては、県受けて、安全対策を確保する目的で取りまとめたものです。
安全対策としては、13項目あり、主な内容としては、ヘリの位置情報報がわかる動態管理システムの活用



(3)平成30年7月豪雨災害を踏まえた対応について

【質問要旨】
我が会派では、今回の西日本の豪雨を受け、去る8月9日に、河川砂防施設の機能維持・回復等のハード対策や、住民の早期避難に結びつくソフト対策を強化することについて、知事に対して緊急要望を行った。
相次ぐ台風の影響や、想定を上回る豪雨の発生に備え、洪水による被害を軽減する為には、ハード・ソフトの両輪による対策を進めることが重要と考える。
そこで、今回の平成30年7月豪雨の教訓をどのように捉え、今後の行動を促す為の防災総合アプリ構築等のソフト対策を実施致す

9月定例会 本会議

（3）平成30年7月豪雨災害を踏まえた対応について
地震・津波対策に加え、風水害、土砂災害に対する取り組みについても、ハード・ソフトの両対策を強力に推進
災害に強い県土づくりの実現に努める

【質問要旨】
我が会派では、今回の西日本の豪雨を受け、去る8月9日に、河川砂防施設の機能維持・回復等のハード対策や、住民の早期避難に結びつくソフト対策を強化することについて、知事に対して緊急要望を行った。
相次ぐ台風の影響や、想定を上回る豪雨の発生に備え、洪水による被害を軽減する為には、ハード・ソフトの両輪による対策を進めることが重要と考える。
そこで、今回の平成30年7月豪雨の教訓をどのように捉え、今後の行動を促す為の防災総合アプリ構築等のソフト対策を実施致す

【知事 答弁要旨】
平成30年7月豪雨の教訓を踏まえ、県民の皆様の命・財産を守る為に必要な緊急対策を実施することになりました。具体的には、河川の流下能力の確保を目的とした河川内の土砂の排除、人家に近接した砂防埋込における土砂の撤去、ため池の補強等のハード対策を実施致します。
併せて、県民の皆様に災害リスクを「ひとごとではなく自分のこと」として認識して頂くことが重要である為、防災講演会の開催や啓発映像の制作、災害への日頃の備えや災害時の行動を促す為の防災総合アプリ構築等のソフト対策を実施致します。
また、有識者や行政、自治会の役員の皆様等と構成する「住民避難実効性向上検討委員会」を設置致します。避難情報が適切な避難行動につながる為の方策について、年度内を目途に取りまとめて参ります。
近年、台風や豪雨に伴う大規模な災害が多発しておりますことから、地震・津波対策に加え、風水害、土砂災害に対する取り組みにつきましても、国・市町と連携し、ハード・ソフトの両対策を強力に推進することによって、県民の皆様が将来にわたって安心して暮らして頂けるように、災害に強い県土づくりの実現に努めて参ります。

自民改革会議

〈代表質問〉
自民改革会議としては、本会議において、以下の内容を代表質問致しました。

- 知事の政治姿勢について
- 全庁を見通した行政運営
- スベシヤリストの育成
- 県庁における障害者雇用への取り組みについて
- 平成30年7月豪雨災害を踏まえた対応について
- 地震・津波対策の推進について
- 法人事業税の超過課税について
- 中央幹線線の整備に伴う大井川水系の水資源等の保全について
- 駿河湾フェリーの事業継続に向けた取り組みについて
- 利用促進策
- 運管権者への期待
- 空港周辺の地域づくり
- ICT人材の育成について
- 森林環境譲与税（仮称）の創設に伴う対応について
- 学校における暑さ対策について
- 県警の運営に対する警察本部長の所信について
- 駿河湾フェリーの事業継続に向けた取り組みについて
- 利用促進策
- 運管権者への期待
- 空港周辺の地域づくり
- ICT人材の育成について
- 森林環境譲与税（仮称）の創設に伴う対応について
- 学校における暑さ対策について
- 県警の運営に対する警察本部長の所信について

(14)学校における暑さ対策について

【質問要旨】
今年の夏は列島各地で猛烈な暑さとなり、学校の教室に空調設置を求める声が全国で起こっている。本県の公立学校の普通教室における空調の設備設置率については、全国平均に比べて著しく遅れている。
特別支援学校の普通教室について、来夏までに空調を整備すると聞いているが、県教育委員会が所管する高等学校や、特別支援学校の特別教室への空調の設置を、どのように進め、運用していくのか、また、それぞれの市町で、空調の整備が検討されている小中学校においても、県として、どのように支援していくのか伺う。

【特別支援学校の普通教室】
平成31年夏までに整備

【県立高校や特別支援学校の特別教室】
出来る限り早期に効率的な整備

【公立小中学校】
国に対して十分な交付金の確保を要望

児童生徒が安全に、かつ、安心して学校生活が送れるよう取り組んで参ります。

大井川「平成の大改修」完成式典

【天正の瀬替え】
戦国時代の末期、天正18年（1590年）、駿河領主中村一氏と掛川藩主山内一豊が牛尾山（島田市）を切り割り、大井川の流れを東側に付け替える「天正の瀬替え」と呼ばれる治水工事を行いました。
【牛尾地区河道拡幅事業概要】
牛尾地区は、大井川上流部（河口から約19km付近）に位置し、右岸側から突出していた牛尾山により、上下流部の平均川幅が600mであるのに対して300mの狭窄部となっており、大井川の洪水疎通の大きな障害となっていました。
本事業は、この牛尾山の影響により、堤防決壊や氾濫による甚大な災害が発生する恐れがあることから、牛尾山の開削や下流側の堤防整備等を行ったものです。
【平成の大改修】
天正の瀬替え（改修）から約400年、牛尾山を再び開削し、大井川の流路を広げる歴史的な工事である「平成の大改修（牛尾地区河道拡幅事業）」に、平成9年度から着手しました。その後、平成24年度から牛尾山の開削工事を開始し、平成30年度に完成しました。



祝 焼津警察署 小川交番 竣工式

静岡県では、第4次地震被害想定において、津波浸水域に所在する交番・駐在所は、浸水域外への建て替えや施設の統廃合等を実施しています。
このような中、小川交番については、津波浸水域に所在はしますが、浸水深が30cm未満であることから、移転はしないで、現地に嵩増しにより建て替えを行いました。
庁舎建物が7月下旬に完成し、8月上旬から新庁舎において業務を開始しております。
今後も、県民の皆様への安全・安心の確保に努めて参ります。



祝 焼津警察署 小川交番 竣工式

静岡県では、第4次地震被害想定において、津波浸水域に所在する交番・駐在所は、浸水域外への建て替えや施設の統廃合等を実施しています。
このような中、小川交番については、津波浸水域に所在はしますが、浸水深が30cm未満であることから、移転はしないで、現地に嵩増しにより建て替えを行いました。
庁舎建物が7月下旬に完成し、8月上旬から新庁舎において業務を開始しております。
今後も、県民の皆様への安全・安心の確保に努めて参ります。



自民党看護を考える議員連盟

自民党看護を考える議員連盟では、機会あるごとに、現場の看護職員の方々の意見交換、施設見学をさせて頂いております。
今回、看護連盟役員・県当局との意見交換会が開催され、私も志太様原地区幹事として出席致しました。
今回の会合は、「昨年度、看護協会・看護連盟から頂いた要望事項」に対する「県当局からの回答（今年度の当初予算で対応した内容）」について、看護連盟役員の方々から意見を伺う形で進められました。
今後も、現場の実情をしっかりと把握し、看護現場の改善を通して、県民の健康が守られるよう努力して参ります。

〈看護職の確保・定着対策推進の支援について〉

（看） ナースセンターとハローワークの連携事業でどの程度成果がでているか。
（県） 平成29年度は、支援対象者282名のうち就業に結びついた者が、95名で33.6%。評価は難しい。ハローワークから「パートタイム勤務の希望が多い」との情報もある。
（看） 再就業支援センターの設置、再就業コーディネーター配置について、県内各施設への周知方法は。
（県） 看護士ずか、ナースセンターだより、静岡県就職ガイドブックでの広報、パンフレット作成、メールマガジンに加え、看護師等養成所や病院・施設への訪問（51件）により周知を行っている。
（看） 活用状況と成果についてはどうか。
（県） 離職時届出制度の周知と登録促進により、届出者数は制度開始からの総計2,700人となっている。何をもちて成果とするか難しいが、まだまだ周知が必要と考えている。
（看） 就業相談員が増員・常設・通年化したのが、求人側のニーズに対応する役割が果たせそうか。
（県） 求職者に対し、再就業支援コーディネーターが就業先に付添う等きめ細かな対応や、再就業支援研修を実施している。求人側に対しては、すぐに働きたいという方を優先的に支援している。

〈専任教員養成講習会について〉

（看） 安定的な看護教員確保の為には、看護協会委託事業ではなく、県の責任において、大学に教員養成コースを開校したらどうか。
（県） 今後10年で多くの教員が退職する見込みであり、喫緊の課題と認識している。講習会については、看護協会委託の他の研修との関連もあり、ご提案の大学という選択肢についてはお答えが難しい。
（看） 教員養成講習会は大学で実施し、今後は特定行為研修を看護協会にお願いしたらどうか。
（看） 教員というキャリアも重視した病院からの、定期的な教員の供給についても考えて頂きたい。

〈その他意見、提案〉

（看） 定年退職後の看護職員は就業していない方も多く、その活用を検討して頂きたい。特に災害時、現役の看護師は病院に向かう為、市等が定年退職後の看護職員を地域で活用する取り組みを行って頂くよう提案したい。また、福祉施設で働く看護職・介護職の質向上に向けた研修の機会拡大と施設への助成をお願いしたい。

静岡県無線漁業協同組合（焼津市田尻）

・東海地域のみならず関東、四国まで含めた地域で、唯一の長距離通信可能な漁業無線局。
・本県から漁業指導専用海岸局の運営の受託を受け、24時間全世界（太平洋、インド洋、大西洋）で操業している漁船に、無線電話やモジュール無線を使って、航行安全情報や気象情報等の通信を行っている。
・今般、全国の中短波を発信出来る無線局の中から、ミサイル発射等緊急時の全国10箇所の通信拠点の一つとして国の指定を受けている。

水産技術研究所調査船「駿河丸」（焼津市小川漁港）

(1)水産資源及び海洋調査の最前線基地
・サクラエビ、シラス、サバ、カツオ等、本県で水揚げされる主要魚種の資源調査や関連する海洋調査等を行い、漁業者や加工業者へ情報提供することで、漁業だけでなく水産加工業の発展にも寄与している。
・貴重な水産資源を将来にわたって持続的に利用出来るよう、他の都道府県とも協力して水産資源と海洋モニタリングを実施している。
(2)災害発生時には防災機能
・駿河丸に搭載する漁業無線は、災害発生時には被害情報・被災者情報等を海岸漁業無線局経由で災害対策本部等に連絡出来る。毎年、県漁業取締船、一般漁船、海岸漁業無線局等と協力して伝達訓練を行っている。

静岡県立清流館高校（焼津市上新田）

・清流館高校は、旧「大井川高校」と旧「吉田高校」の2校を再編整備し、平成26（2014）年度に開校した、普通科及び福祉科を設置する全日制の県立高校である。
・普通科は、四年制大学を始め短期大学、専門学校等への進学指導はもとより、就職にも対応したきめ細かな指導を特徴としている。また、県中部地区公立高校で唯一の福祉科は、将来の「福祉のスペシャリスト」として地域に貢献出来る人材の育成を目標としている。
・H29年度 静岡県高校生介護技術コンテストで「最優秀賞」受賞。
・介護福祉士国家資格、全国屈指の合格率。
【H29年度：100%（39人）、全国平均：70.8%】
・静岡県教育委員会事業である生徒の学力と教員の指導力を向上させる方策について研究することを目的とした、「ネオアドバンススクール」の指定校（H29・H30年度）。

移動知事室

県内各地域における重点施策の推進、政策課題や県政への要望・提案等を現地で確認し、対応を図ることを目的に、県では移動知事室を行っています。